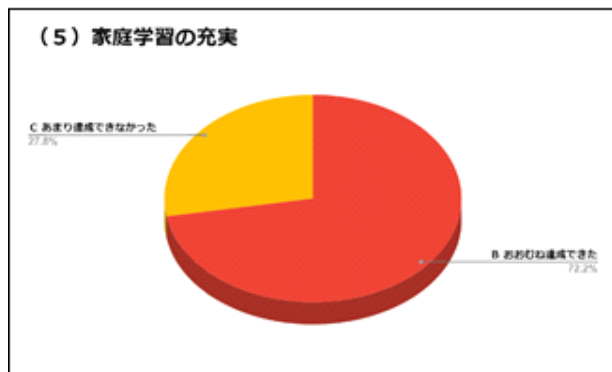
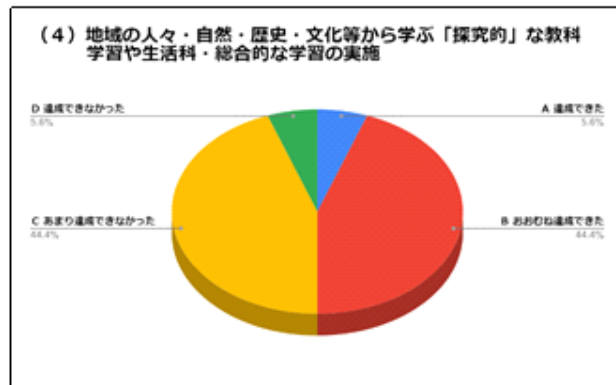
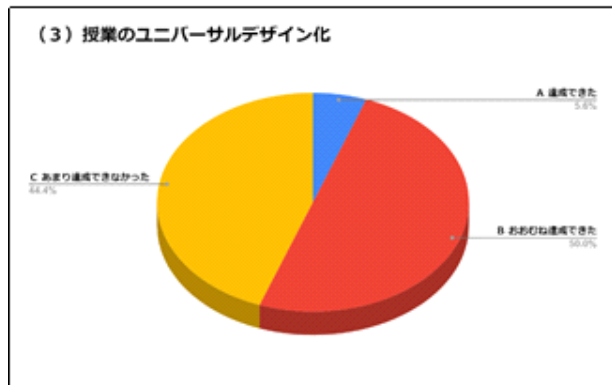
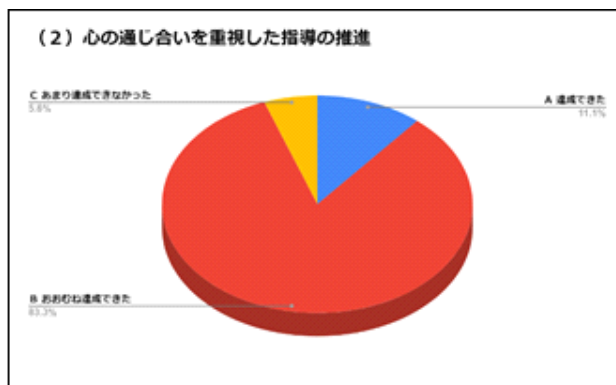
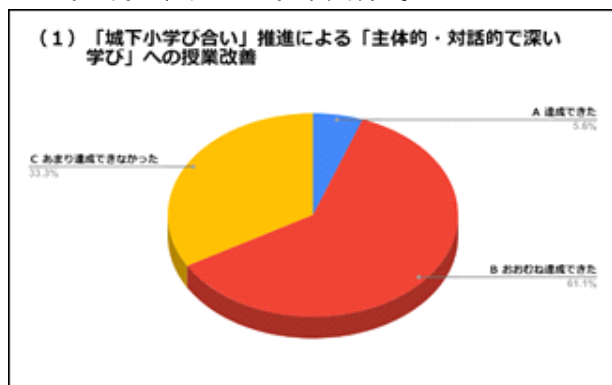


城下小学校学校自己評価（中間）の結果

今年度城下小学校では、学校教育目標「まなびきたえ ともにのびる子 ～一人一人が輝く城下小学校～」のもと、目指す子どもの姿「自ら求めて学び合う子ども（まなび）、明るくたくましい子ども（きたえ）、友や地域と温かく関わる子ども」を求め、全職員で取り組んでおります。自分たちの取り組みについて、学校職員で振り返りを行いました。課題を見極め、学校運営後半に生かしていきたいと思っております。

● A 達成できた
● B おおむね達成できた
● C あまり達成できなかった
● D 達成できなかった

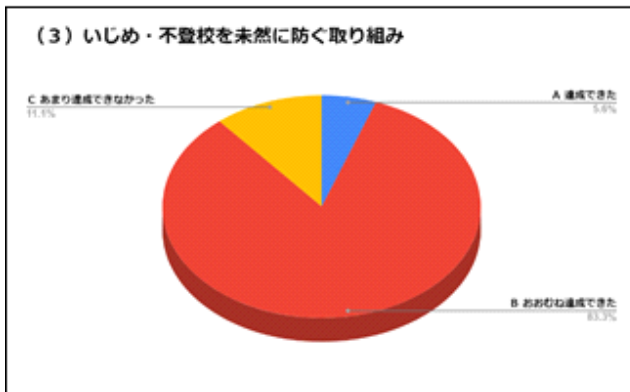
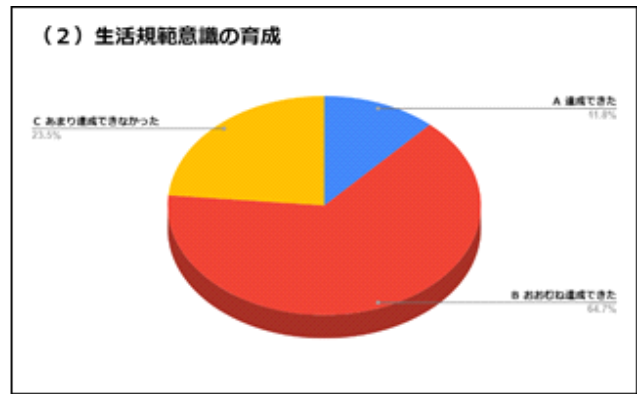
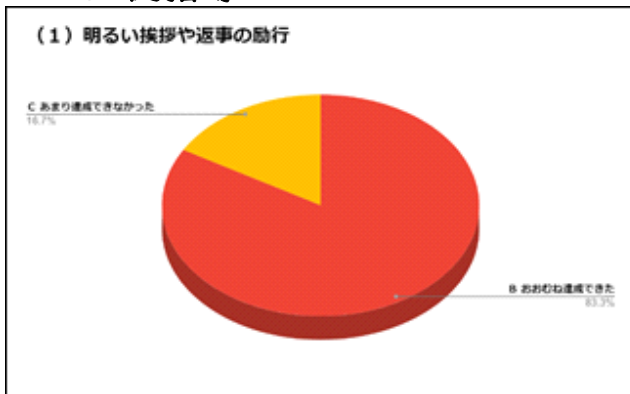
I 教育課程・学習指導



(6) 教育課程・学習指導について

- ・ 単元計画を立て、見通しをもって指導にあたることができた。授業で使うものの準備や、ノート指導など、基本的な学習指導から始めたが、少しずつ学習習慣を形成することができている。
- ・ 家庭学習は取り組みの差が大きい。積み重ねていくことで、学力の定着に結び付けたい。
- ・ 対話的個人追究を取り入れた授業をすすめることができた。分からないことを伝え合う・聞きあう場を取ってきたことで、子どもたちがお互いに聞きあいながら学ぶ素地はできてきたと思う。
- ・ 様々な学習場面で困難さを抱えている子がいるので、その子にも分かりやすい提示の仕方（視覚支援など）や指示の仕方などを考えていきたい。
- ・ 子どもが知りたい、このやり方ならできるという子ども主体の授業づくりが課題である。

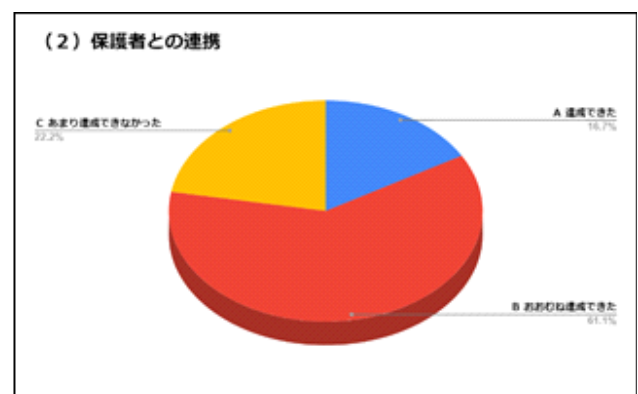
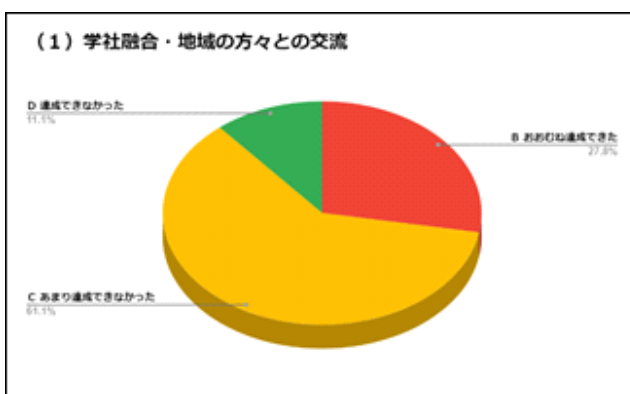
2 生徒指導

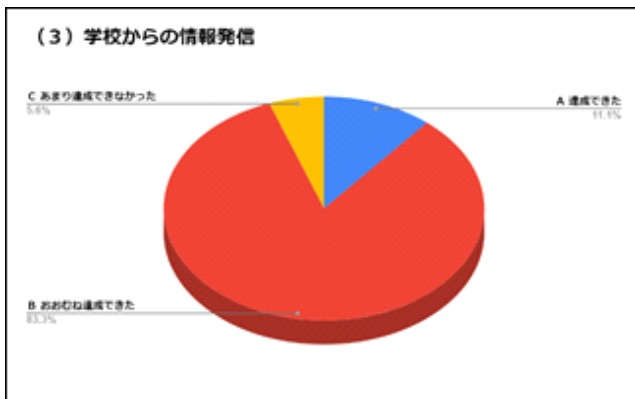


(4) 生徒指導について

- ・学校のきまりを守ることは、その都度指導を行い、どうしてきまりがあるのかを考えさせる時間をもった。人間関係については、子ども達の様子に気を配り、気になることがあったら、声をかけるようにした。できるだけ人間関係の把握に努めた。
- ・あいさつや清掃について児童会の動きが活発化したおかげで、意識が向上した。
- ・目指す子どもの姿と、そのための取り組みや手立てについて職員で共有できるとよかった。
- ・自らも明るいあいさつを心がけている。児童会などの取り組みもあり、あいさつの輪が広がっていった。廊下歩行などは指導をしているが中々結びつかないことも多い。休み時間など廊下に立って気が付いたところで丁寧に指導していくことを継続していきたい。
- ・児童の様子をよく見て、些細な変化があればすぐに声をかけるようにしたことで、大きなトラブルに発展する前に問題を解決することができた。しかし、善悪の判断が難しいこともあり、悪気なく嫌がることをしてしまうことがあるので、良いこと悪いことの根本から指導していきたい。
- ・「安心した学校生活を送ることができるようにする」を第一の目標として指導・支援にあたった。保護者の方と同じ方向性で指導・支援にあたることができた。

3 地域との連携

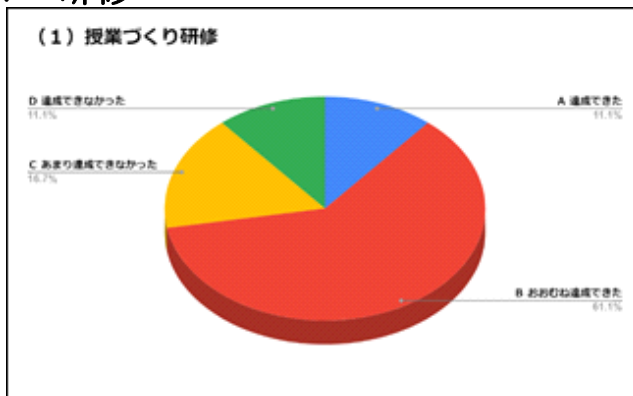




(4) 地域との連携について

- ・田植えで地域の方々に大変お世話になった。総合や様々な活動で子どもたちと地域をつなげ、かわりをもちながら活動することを大事にしていきたい。
- ・保護者との連携は毎日の連絡帳や支援会議を通して密にできている。
- ・学年だより、学級通信を中心に保護者の方との連携はできたと感じるが、地域の方との連携や交流ができた実感がありませんので今後取り組んでいければと思う。
- ・地域や保護者の方々との情報交換の機会を大切にするとともに、たくさんの方に見守られていることを子どもたちにもその都度伝えていきたい。

4 研修



(2) 研修について

- ・研修で学ばせていただいたことを、授業に少しずつ取り入れるようにしている。ICTを使った学習がなかなかできないので取り入れたい。また、自分も使い方が不十分なのでもっと学んでいかなければいけないと考えている。
- ・重点研究では、様々な先生方から意見をいただいてとても勉強になった。たくさん先生の授業を参観し、自分の授業の改善に取り入れていきたい。
- ・授業公開を行い、様々な先生から意見をいただくことで、自分の授業を客観的に振り返ることができた。授業をつくる過程でも、同じ研究会の先生方から子どもたちの問いづくりや個人追究などたくさんを教えていただいた。
- ・主体的に仕組ませる学習問題について研修中である。課題との出会わせ方を工夫したい。
- ・お互いにより刺激を受け合える職員集団でありたい。

「心の通じ合いを重視した指導の推進」「学校からの情報発信」については、高い評価となっています。友と学び合う中で、自分の考えの高まりや深まりを感じられる授業をこれからも目指していきたいと思っております。また、学校だよりや学年だより、学級通信をとおして、学校の様子や思いをお伝えしていきたいと思っております。

課題となるのが「授業のユニバーサル化」「地域の人々・自然・文化等から学ぶ『探究的』な教科学習や生活科・総合的な学習の充実」に関してです。一人一人の児童に対応した学習を心がけるとともに、子どもたちが主体的に学ぶ授業づくりに努めていきたいと思っております。